

(別記)

令和3年度江南市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

江南市では、畑作での露地野菜を主体として、一部の地域で水稲が耕作されている。しかし、農業経営者の高齢化や後継者不足など農業を取り巻く環境が著しく変化しており、田畑の耕作放棄地化が年々進行している。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域の加工用米は、地場産業を中心に生産を行っており、近年、加工用米の需要が高まってきている。そのため、今後も地場産業との連携を図り、産地交付金を活用し、加工用米の生産増を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効利用に向け、令和3年度も経営所得安定対策の普及促進を行う。
畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲付に活用される見込みがないか現地調査、作付計画の確認を行う。
畑に転換する意向を確認した場合には、関係農家の意向調査、畑地化支援要件の整理を行い、畑地化を検討します。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

水田農業は、自家用消費米の作付けが中心で、販売用米は少量の出荷にとどまり今後も減少傾向に推移すると予想される。今後は担い手の掘り起こしを行い、農地の利用集積等の推進を図る。

(2) 備蓄米 該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米、イ 米粉用米、ウ 新市場開拓用米、エ WCS 用稲 該当なし

オ 加工用米

当該地域の加工用米は、地元酒蔵への販売を中心に生産を行っており、近年、加工用米の需要が高まってきている。

生産性向上・品質向上・収量増加に関する取組に対して、産地交付金を活用し、令和3年度には1.2haの生産を目指す。

(4) 麦、大豆、飼料作物 該当なし

(5) そば、なたね 該当なし

(6) 高収益作物 該当なし

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	65	65	65
備蓄米			
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米	1.07	1.1	1.2
麦			
大豆			
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば			
なたね			
高収益作物			
・野菜 ・花き・花木 ・果樹 ・その他の高収益作物			
その他			
・景観形成作物	0.06	0.06	0.06
畑地化			

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	（5年度）
1	加工用米 （基幹作）	加工用米の生産性向 上等に向けた取組	作付面積	（2年度） 1.07ha	（5年度） 1.2ha
2	加工用米 （基幹作）	加工用米のコスト低 減等に向けた取組	取組面積	（2年度） 1.07ha	（5年度） 1.2ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。